



みなさんの暮らしと
つながっています。

Vol.60

令和3年(2021年)
2月1日発行

はまた 議会だより

主
な
記
事

12月定例会議のポイント、トピックス……………	2・3
委員会活動レポート……………	4・5
個人一般質問……………	6～11
市民対談(地域おこし協力隊)……………	12・13
はまた議会ニュース まるよみ……………	14
読者アンケート……………	15

12月定例会議



今回はこれがポイント!

まちづくりセンター条例、 追加のコロナ対策予算5,400万円 可決

12月定例会議では、**浜田市まちづくりセンター条例**が賛成多数で可決されました。この条例は、令和3年4月から施行される協働のまちづくり推進条例に基づいた住民主体のまちづくりを進めるために、公民館に従来の機能である社会教育・生涯学習の推進に加え、まちづくりの拠点施設としての機能を持たせるものです。26館ある市立公民館の正式名称は「まちづくりセンター」となり、所管は教育委員会から市長部局に移ります。これで、自治区制度に代わる新たな協働のまちづくりに向けての準備が整いました。これからは、まちづくりセンターを拠点として、市民一人一人が主体となり、地域の特色を生かしたまちづくりを進めていくこととなります。

また、新型コロナウイルス感染症対策の市の独自支援策を含む、一般会計補正予算が審議されました。主な支援事業としては、**各種教育・教習機関支援事業、プレミアム付き飲食・宿泊応援チケットの追加発行事業、修学旅行キャンセル料支援事業、体温検知カメラ購入、外来検査センター運営事業**などが予算化されました。この中の**外来検査センター運営事業**は、かかりつけ医から新型コロナウイルス感染症の検査が必要と判断された発熱患者の検体採取を行うもので、浜田市医師会からの要望を受け、島根県の委託事業として浜田市が「外来検査センター」を設置・運営する事業です。

トピックス

公民館が

「まちづくりセンター」に

まちづくりセンター条例を可決しました。公民館を「まちづくりセンター」と改め、公民館の機能を拡充し、協働のまちづくり、社会教育や生涯学習を進め、地域の拠点、住民の集いの場として衣替えします。

自治区制度に代わる協働のまちづくりを進める条例も制定され、魅力ある地域社会を実現するとしています。地域に自治が根付き、地域を舞台として住民が主役となって、活動が展開されるよう市の支援が不可欠です。



公民館での「まちづくりトーク」

問 新たに配置されるまちづくりコーディネーターの人数、役割は何ですか？

答 コーディネーターは5人配置し、まちづくり活動や教育・生涯学習を推進する活動、地域の実情に応じた特色あるまちづくり活動が行われるよう支援します。

問 自主防災、子どもの見守り、高齢者サロン、住民の健康づくりなどの活動をどのように進めるのですか？

答 市民と行政が協働し、まちづくり活動を進め、コーディネーターが支援します。

問 地域での社会教育や生涯学習はどう進めるのですか？

答 これまでと同様に社会教育推進計画に沿って、ふるさと郷育、はまだっ子共育、学びのあるまちづくりの3つを進めていきます。

市役所北分庁舎に 外来検査センターを設置



北分庁舎敷地内の検査センター

浜田市は、新型コロナウイルスの検査のため、検査採取を行うドライブスルー形式の外來検査センターを、殿町の北分庁舎敷地内に設置しました。これにより多数の発熱患者が、地域の医療機関において適切な診療と検査を受けられる体制を確保できます。開所日は、月曜日から木曜日までは13時から15時まで、金曜日は10時から12時までです。対象は、浜田市の医療機関から紹介されたおむね中学生以上の市民で、設置期間は3月末日までです。

- 問** 費用はかかりますか？
- 答** 無料です。浜田市が負担します。
- 問** 検査を受けるまでの流れは？
- 答** まず、かかりつけ医に体調を説明し、判断を仰いでください。かかりつけ医が受診の必要性を認めた場合、かかりつけ医が検査センターに予約を入れます。検査センターは、完全予約制です。
- 問** 検査結果はいつ分かりますか？
- 答** 翌日の午後には分かれます。
- 問** 小学生や幼児の場合、検査キットを誤飲する可能性があるのでは、小児科医院で検査します。
- 答** 1日に何人の検査ができますか？
- 答** 20人の検査ができます。



議案等の 賛否の公開

12月定例会議で賛否が分かれた議案等のみ掲載しております。各議員の賛否や反対理由、請願・陳情審査結果、討論などの詳細は、市議会ホームページをご覧ください。

浜田市議会 議案等・結果 [検索](#)

令和2年12月定例会議

・市長提出議案27件 ・議会提出議案2件

議案番号	議案名	賛成	反対
議案第73号	浜田市まちづくりセンター条例の制定について	22	1 川上
議案第74号	浜田市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例について	22	1 西村

請願・陳情について審査しました 請願2件 陳情10件

請願の内容	提出者	本会議での審議結果
現行少人数学級制度縮小計画の凍結を求める意見書の提出について	ゆきとどいた教育をすすめる島根の会 代表 小松 雪乃 松江市母衣町	採択（全会一致）
核兵器禁止条約を日本政府が署名・批准することを求める意見書の提出について	石見地区労働組合協議会 議長 佐々木 和敏 浜田市港町	採択（全会一致）



討論とは、議案等の採決前に、賛成・反対意見を表明することです。

- 議案第73号**
浜田市まちづくりセンター条例の制定について
反対 川上 幾雄
「条例解釈に曖昧さがあり、精査し再提出を。」
- 議案第88号**
令和2年度浜田市一般会計補正予算（第7号）
賛成 澁谷 幹雄
「有福温泉への支援の抜本的改革を求める。」
- 議案第96号**
令和2年度浜田市一般会計補正予算（第8号）
賛成 澁谷 幹雄
「コロナ禍でのさらなる市民救済策を求める。」

レポート



総務文教委員会

幼児教育の魅力化を議論

市内の保育園、幼稚園（公立・私立）、認定こども園、認可外保育所へのヒアリングを終えました。それぞれの特徴を生かした事業実施の状況、人材育成・確保や研修時間確保といった課題についても改めて状況を詳細に把握することができ、議論を深めることにつながっています。直近の委員会では、それらを踏まえ、委員それぞれに対策案を作成し持ち寄りました。取りまとめに向けて、継続して協議していきます。

また、10月26日に教育委員会から、公立幼稚園の統合方針が出されました。園児数の減少などの理由により、令和5年度から長浜幼稚園の園舎を活用して一園で運営するとのことです。財政的な側面、公立の幼児教育施設としての役割など、さまざまな角度から検証が必要です。これについても、委員会で取り上げ、市長・教育長に対して提言することとしています。



統合後活用予定の長浜幼稚園園舎

議会運営委員会

請願・陳情方法の見直し

議会運営委員会では、会議の日程や案件をはじめとする議会運営全般に関する事項の協議・意見調整を行っています。委員は、各会派から構成される11人です。

市民は請願や陳情という形で要望などを議会に提出することができます。現在は、議会側が求めない限り、請願・陳情者は発言の機会はありません。そこで、委員会での趣旨説明（発言）の可否について協議することにしました。ルールの変更に伴うさまざまな影響を加味し、現在、議員定数等議会改革推進特別委員会で検討中です。

産業建設委員会

JAしまねとの意見交換会

産業建設委員会においては「浜田漁港周辺エリア活性化」を取組課題として調査研究しています。令和3年3月に山陰浜田港公設市場がオープンする際、魚介類だけでなく、地元の野菜、果物、肉、花なども一緒に購入することができる必要があると考えています。そこで令和2年10月23日にその実現に向けて、JAしまね いわみ中央地区本部の方々と意見交換をしました。

現在の産直市の状況や今後の見通し、山陰浜田港公設市場周辺での産直市の可能性についてお伺いしました。実現に向けては、課題も多く、大きなハードルがありますが、将来に向けて有意義な意見交換会となりました。全国に誇れる港となるよう、今後も「浜田漁港周辺エリア活性化」の調査研究を重ねていきます。



意見交換会の様子



委員会活動

中山間地域振興 特別委員会

提言第3弾を市長へ

中山間地域振興特別委員会では提言1の集落機能の維持対策、提言2の情報・通信・交通の確保対策に続き、農林地の維持管理対策、耕作放棄・鳥獣被害防止対策を提言3として取りまとめ、川神議長から久保田市長に提言書を渡しました。

この提言については、昨年11月から13回の会議を重ねるとともに、実際に耕作放棄地を農地にする取組をしている農業法人に出かけて意見交換を行い、提言書を作りました。

その内容は「農林地を守り活かす仕組みづくりの推進」をテーマとした以下の6項目です。

- ①農業・林業の担い手・事業承継者の確保
- ②畦畔の草刈りの方策
- ③有害鳥獣被害の対応
- ④耕作放棄地対策
- ⑤山林管理対策
- ⑥集落営農の再編

今回の提言内容については、中山間地だけの問題ではなく、過疎化と高齢化が進む地域で「生き残る」ために必要な施策や事業を真剣に議論し、まとめたものです。

この提言については、浜田市が丸となって実現できるよう、これからも議会として努力を継続してまいります。



提言第3弾を川神議長から久保田市長へ

福祉環境委員会

母子手帳アプリの取組などを調査

福祉環境委員会では今年度、子育てしやすい環境づくりの提言を目指し、調査活動などを重ねています。先般、母子手帳アプリを導入している県内自治体の取組状況を視察しました。視察したのは松江、出雲、大田、益田の4市で、松江市以外は「母子モ」というアプリを導入されていました。母子手帳の情報を標準機能とし、利用者から要望が多く出された「オンライン相談サービス機能」もついています。

いつでもどこでもタイムリーに情報を受けることができ、ウェブ上は11カ国語に対応し、多くの子育て世代に利用しやすくなっています。また、自治体が負担する費用も安価で、委員会では浜田市での導入を推進していくべきとの意見で一致しており、引き続き協議を進めていきます。

その他、市内の2カ所の子育てサロンを視察し、保護者の方々から多くのご意見やご要望を伺いました。主なものとしては「将来、高校への通学方法が心配」、「保育料の第3子無料の条件を緩和してほしい」、「不妊治療の助成を拡大してほしい」などで、特に「自治区内に公園が1つもないので29年前から整備を要望している。今回、公民館建て替えに併せ、小さくても公園を設置してほしい。高齢者には手厚いが子育て世代の声は届きにくいのでは」との声には非常に重たいものを感じ、子育て世代の切実な思いと受け止めました。



子育てサロンの様子

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



浜田市議会はSDGs(持続可能な開発目標)を推進しています

質問内容をSDGsの17のゴールで分類しています。

市政を問う

23名が
個人一般
質問



個人一般
質問とは

各議員が市民の代表として、市長などに、事務の執行状況や将来の方針などについて、所信や疑問をたずねます。詳しい内容については市議会ホームページでご覧いただけます。



※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、議員の質問時間を1人当たり20分に短縮して行いました(本来は1人当たり30分、答弁を含めて1時間15分で終了します)。また、アクリル板を設置し、感染予防に努めています。



質の高い教育をみんなに

公立幼稚園の統合は計画通り進めるのか

- Q** 令和5年度から公立幼稚園を1園に統合する計画が突然示された。保護者説明会では多くの不安の声や意見が出されたが、計画通り進めていくのか。
- A** 施設の老朽化も進んでおり、計画のスケジュールは延期できない。要望が出ている新たなサービスについては検討したい。
- Q** 計画を作る前に保護者や関係者の意見も聞いてほしかったとのことだがどうか。
- A** コロナ禍の影響で保護者からの意見が聞けなかったが、関係者からの聞き取りなどを基に計画を作った。
- Q** 統合前から、前倒しで預かり保育や給食などのサービスに取組めるのか。
- A** 検討していく。



佐々木 豊治

いじめ防止対策の強化を

- Q** いじめの現状を問う。
- A** 今年度一学期のいじめ被害は、小学校で126件、中学校で35件である。令和元年度の一学期と比べて減少している。
- Q** 表に出ていないいじめもあると思う。東京の辰沼小学校では「辰沼キッズレスキュー」を立ち上げ、多数の児童がいじめ反対の姿勢を表明すると、いじめがやりにくくなり、傍観者にならなくて済むなどの効果があった。参考になると考えるが所見を問う。
- A** 浜田市ですぐに取組めるかは研修が必要だが、子ども同士でいじめを防ぐことができるのは素晴らしいことなので、学校に情報提供したい。可能なところから取組みたい。



柳楽 真智子

子どもの教育環境をつくる 生活を守る

- Q** 児童生徒1人1台のタブレット端末配備の状況、支援員の配置、教員への研修などはどうか。
- A** 校内ネットワークの整備、スクールサポート1人、ICT支援員3人を配置し、教職員の研修も実施したい。
- Q** 学校給食の公会計化の取組状況はどうか。
- A** 給食費の徴収や管理業務の効率化となるが、システム整備や人員確保の財政負担が生じる。教員の業務負担軽減につながるよう手法を検討したい。
- Q** ひとり親家庭に給付金が届いていないとの声があるがどうか。
- A** 11月30日時点で約27%の申請にとどまっております。申請期限が2月末までなので、広報はまだに掲載し、周知したい。



芦谷 英夫



質の高い教育をみんなに

みんなで実現しよう社会に開かれた教育課程

Q 新しい学習指導要領が始まり、学校教育が大きく変わろうとしている。保護者は趣旨と内容を理解しておく必要があるが、コロナ禍によりPTA行事など中止せざるを得ないため、十分に周知する機会がない状況であるが、行政の対応は。

A 各学校でのPTA総会の場で説明を予定していたが実現できないため、十分な周知に至っていないと考えている。教育委員会として「子どもが主人公の教育を目指して」と題して放映した番組を浜っ子タイムズの動画チャンネルで見ることが出来る。また、指導要領に沿った学校としての方針を説明する機会を設けるように働きかけていく。



沖田 真治

子どもたち全てに公平で質の高い教育を!

Q 地域の広い浜田市のポテンシャルを教育環境に生かし切れていない気がする。学校現場の体験活動予算とその考え方について問う。

A 自然体験活動の推進に特化した予算が230万円。考え方は、心豊かであくましく、自ら課題を見つけ、自ら考える子どもを育てる。また自然に触れ、様々な体験をすることで、ふるさとへの愛着や誇りを醸成する。

Q 来年度、公民館が「まちづくりセンター」に生まれ変わるのを機に、「浜田市人材育成都市宣言」をしてはどうか問う。

A 都市宣言をする前に、生涯学習や人材育成の活動が活発化するような体制や組織づくりを検討していく。



西田 清久

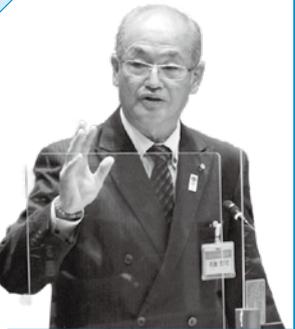
市立幼稚園は新園建設時に統合すべきだ

Q 園児数が減少傾向にある市立幼稚園にあつて、令和5年度に4園を1園にする統合案は、入園する選択肢としてこれまで保護者会からの要望（預かり保育や給食など）に応えなかったのが、入園児減の大きな要因では。

A 大きな要因は働く保護者が増加し保育所へ入所する子どもが増え、認定こども園幼稚園部の増加などの背景がある。しかし、要望に対応しなかったことも要因の一つ。

Q 統合先の長浜幼稚園は、通園距離や園舎出入り口の安全性、駐車場の問題、津波の心配がある。「海のみえる文化公園」に新園建設時に統合すべきだ。

A 苦渋の選択ではあるが現時点では長浜幼稚園としている。



布施 賢司



安全な水とトイレを世界中に

老朽化している水道施設は維持管理が肝心

Q 水道は料金も統一化され、全てが1つの事業として運営されるようになった。しかし施設は老朽化しており上手に使うには維持管理が肝心だ。

A 法定耐用年数を超える施設も多く、管路更新事業に取組み、耐震化を推進している。また職員による維持管理として、巡回管理を週末は月1回2人1組で行っている。

Q 異常時の措置手順はどうなっているのか？

A 運転状況に異常を認められた場合は、関係先へ連絡を行うとともに復旧作業に努め、作業後正常運転を確認し、送水している。

Q 水質の異常時はどのように対処するのか？

A 「水安全計画」を策定し、水源から給水栓までの対処方法を定めている。



川上 幾雄



すべての人に健康と福祉を

地域づくりに福祉バスは大変重要である

- Q** 高齢者が地域活動を展開するための移動手段の確保について、どのような考えか？
- A** 高齢化が進む地域において、移動手段を持つておられない地域住民の方々のための移動手段の確保は大変重要である。社会福祉の目的に通じる活動には、福祉バスを活用していただきたい。
- Q** 福祉バスの運営要綱を改正する考えはないか。
- A** 現行の運営要綱でも、従前の広い意味での公共の福祉に活用できる。
- Q** まちづくり委員会が、事業をして利益が出た場合の考え方は。
- A** みなし法人に認定されれば、法人市民税6万円、法人県税2万円、計8万円市県民税がかかる。



田畑 敬二

介護現場の崩壊を防ぐ施設等の連携は？

- Q** 新型コロナウイルス感染症による介護現場の崩壊を防ぐ備えは？
- A** 発生した場合に備え、他施設から介護職員等の派遣に関する協定を進めている。すでに8施設が締結し、介護職員の派遣登録者数も17人の状況。
- Q** 多くの施設で職員不足、人材が確保できない中、感染した場合を想定した訓練等が必要では？
- A** 市内の高齢者施設、福祉関係の入所施設では入所者が感染した場合を想定し、各施設の状況に合わせて訓練が実施されている。また、介護職員の感染を抑えるため、複数班集体制で個別具体的な訓練が行われている。他施設の参考になるよう市として、情報の共有と対策強化につなげていく。



上野 茂



働きがいも経済成長も

元気な中山間地域振興の仕組みづくりパートII

- Q** 浜田市において石見神楽（鍾馭）という的を射たツールを活用し、新型コロナウイルスの終息を願う活動を通じて「日本遺産石見神楽」を日本はもとより世界に発信するチャンスと責任があるか？
- A** 東京オリンピック・パラリンピックに向けた都内神社公演、国立劇場公演を計画するなど首都圏での公演を通じて世界に向けて情報発信をする。
- Q** 農業の将来像を描く「集落戦略」の策定において、広域連携組織立ち上げの取組状況は？
- A** 地域で農地を維持する仕組みを検討する。
- Q** 特定地域づくり事業では第一次産業も視野に？
- A** 第一次産業を含め、他業種への展開も組合と一緒に検討する。



飛野 弘二

会議所・商工会の要望はどう対応するのか

- Q** 水産関係事業者から、水道料金減免の陳情が出ているが対応は。
- A** 公営企業で、公平性の担保が不可能である。
- Q** 日本遺産の石見神楽産業全体の支援はどうするのか。
- A** 大事な観光産業であり、早急に対応する。
- Q** 浜田らしい観光サインの統一化はどうか。
- A** 既存のものを更新する時期に検討する。
- Q** 観光事業者応援給付金の追加支援をしては。
- A** 次回以降検討したい。
- Q** はまだ飲食・宿泊応援チケットは追加発行されるのか。
- A** 年内に5千部、年明けに残りの5千部を発行する。
- Q** 毎年発行しては。
- A** 検討したい。



牛尾 昭

住み続けられるまちづくりを

ふるさと応援「浜田応援団」について



申崎 利行

Q ふるさとを応援したいという思いを持っておられる方を「浜田応援団」として組織化し、団長には梨田昌孝さんに就任いただいている。現在の登録者数は？

A 令和2年8月から募集を開始し、現在1001人を開始し、現在1001人。

Q 応援活動の内容は？

A 浜田での地域活動の手伝いや、お住まいの地域でのイベントスタッフ協力などを想定している。11月29日に、オンラインによる結団式を開催し、31人の参加があった。浜田応援団の皆さんには、神楽や特産品を印刷した名刺を送って、浜田市のPRや応援団への加入呼びかけをしていただいている。今は、応援団の士台作りに力を入れており、今後の活動につなげる。

コロナ後の浜田市の魅力創りのために



野藤 薫

Q 令和5年度、幼稚園を1園にする計画案が示された。1園だとさらなる魅力化が必要だが？

A 各園の伝統や特色ある取組を踏まえ、幼児教育センターも併設する。幼児教育の充実を図り、拠点としたい。

Q サン・ビレッジ浜田は他市にない施設。令和3年度までの利用実績で継続可否を検証するの？

A 新型コロナウイルスとこの2年の冷凍設備機器トラブルで、令和3年度以降に検証期間の延長を検討中。

Q 汚水処理人口普及率向上に補助制度の検討は？

A 市街地下水道事業は令和8年度供用開始が目標。区域外の合併浄化槽の普及で国の新たな補助制度ができた。さらなる普及率向上に努める。

官民連携で公共空間の有効活用を



三浦 大紀

Q 都市計画マスタープランの整備方針と、それに基づき各事業が乖離しないように、定期的に検証する仕組みが必要では？

A 次期計画の策定期間にある。検討したい。

Q 浜田駅周辺整備による回遊性の向上効果（滞在時間増）を期待する。歩行者思考のデザインを。

A 一方通行解消や歩行空間整備でにぎわい創出につなげたい。景観にも配慮する。

Q コロナ対策として道路占有許可の緊急措置が取られ、店舗前でのテイクアウトやテラス営業が可能となっている（申請必要）。市内の状況は？

A 浜田駅前商店街で検討したが実施には至っていない。民間からの事業提案も期待したい。

浜田を魅力あるまちにするための公園整備を



西川 真午

Q 近所の小学生から、子どもがボールを使って遊べる遊び場を作ってほしいとお願いされた。

A 確かに市街地の子どもには自由に遊べる場所が減ってきているので、身近な公園は必要で、ボールを使うならフェンスもいる。すぐに対応することは難しいが、子どもたちの声が届いたということであれば、教育委員会、都市建設部、健康福祉部が協議をして、可能なところから取組みたい。

Q 次期都市計画マスタープランの策定状況は。また、策定に当たっては、縦割りを排除して教育や福祉の意見も取り入れ、今後の浜田に本当に必要な公園整備をお願いする。

A 来年度末の策定に向けて委託業者と協議中。

住み続けられるまちづくりを

まちづくりセンターの丁寧な説明を!



村武 まゆみ

Q 来年度からまちづくりセンターへ移行する。公民館職員や利用者への丁寧な説明が必要だが、どのようにするのか？

A まちづくりセンターになりどう変わるか、職員が何を担うかなどをできるだけ公民館へ行き、丁寧に説明をしていきたい。

Q まちづくりコーディネーターはチームで連携して進めるために、基本同じ場所での配置とし、さらにコーディネーターたちを統括する人材が必要だと考えるがどうか。

A 各地域が必要としている支援をコーディネーター同士でしっかりと共有をし、柔軟に対応していく。また統括する人材は必要であるので、社会教育アドバイザーにお願うことも考えられる。

少子化対策の効果なく、人口減少が加速!



笹田 卓

Q 出生数が大きく減少し、人口減少が加速している。このままでは、浜田市は消滅自治体になるのではないかと危惧する。例えば、出産祝い商品券の配布、医療費助成を高校生まで拡充、義務教育期間の教材費・給食費・修学旅行費の無料化、若者住宅の整備、Uターン者の起業支援金などの目玉となる少子化対策が必要と考えるが？

A 少子化対策は市の最重要課題であり、今後、少しでも少子化に歯止めがかかるように総合戦略に追加する事業を検討する。



最重要課題は少子化対策!

中山間地域での住宅環境整備を



永見 利久

Q 中山間地域で、特に小学校や保育園に近い利便性の良い地域での空き家対策は。

A 子育て施設に近い地域での住宅環境整備は、若い世代の移住促進につながるかと考えている。

Q 今福教職員住宅や若者定住住宅の活用は。

A 教職員住宅は公共施設再配置計画において、「耐用年数経過後廃止」で入居も受け付けていない。

Q 耐用年数の期限は。

A 昭和56年建築の鉄筋コンクリート造りで、令和24年が期限である。

Q 耐用年数までの期間、生活ができる住宅環境を整備し、人口減少を食い止める定住対策を。

A 改修経費も研究し、耐用年数まで有効利用できないか検討する。

「浜田市の消滅」を回避するには?



澁谷 幹雄

Q 浜田市は、2014年日本創成会議から、「消滅可能性都市」と指定された。浜田市の消滅を回避するには、子育て支援と出生数増加のための強化対策が必要だ。国の3歳児以上の保育料無償化政策で、浜田市の負担は毎年6千万円軽減された。この6千万円を原資として、例えば ①中学生の給食費の無料化 ②0歳児から2歳児までの第2子以降の保育料の無償化 ③高校生までの医療費の軽減策の拡大 ④0歳児と1歳児への紙オムツの無料配布など、先進自治体で効果の出ている政策を、なぜ浜田市は取り入れないのか？

A 財源には限りがあり、今いろいろと検討しているところだ。

産業と技術革新の基盤をつくろう

新船の建造は、国の制度活用が不可欠だ!



道下 文男

Q 基幹産業である漁業の活性へ、いち早い「国の漁船リース事業」の取組を望むが?

A 漁業活性化は、地元漁船の存続が最重要課題と認識しており、国の「漁船リース事業」や「もうかる漁業創設支援事業」を活用した新船の建造と取得を目指し、県やＪＦしまねと連携して手続きの支援を行う。また、市も上乘せ補助を検討する。

Q 今、ＪＦしまねの体制強化が求められていて、これを乗り越え、県と一体となって打開の道を開いていただきたい。

A 対策には、ＪＦしまねや県との連携が必要不可欠であり、両者に働きかけ、協力依頼も含めて今後進めていく。

平和と公正をすべての人に

地域の史跡を活用する平和教育を



岡本 正友

Q コロナ禍で戦没者追悼式が中止された。平和を語り継ぐ活動は高齢化による限界から、さらに後退が懸念されている。このたび、戦没者遺族連合会から、身近にある地域の史跡から学ぶ「二度と戦争を起こさないための学校教育」を求める陳情への対応策と補完する教材などについての考えを問う。

A 平和学習を継続し風化することがないよう取り組む。地域の史跡を活用する副読本や石見ヶーブルでの番組制作は前向きに考えたい。



地域の史跡

核兵器のない世界を子どもたちへ!



小川 稔宏

Q 核兵器禁止条約を批准した国・地域が本年10月に50に到達し、2020年1月22日に発効する。世界には1万4千発近い核兵器が存在し、その危険性が指摘されている。核兵器禁止条約に対する市のメッセージを問う。

A 核兵器全面廃絶と恒久平和を全世界に訴えることが浜田市のスタンス。その一歩として核兵器禁止条約の発効が確実になったことは大きな前進である。平和首長会議の一員として条約の署名・批准を訴えていきたい。

Q 平和教育で被爆アオギリ2世の苗木を学校の校庭に植樹してはどうか。

A 植樹は各学校の判断となるが、被爆アオギリの話による平和教育は引き続き取り組んでいきたい。

従業員への聞き取りをやってこそ客観性向上



西村 健

Q 病児病後児保育事業の補助金返還問題において市は、「市要綱の長年の改正漏れにも関わらず、医療機関は国の要綱改正を逐次認識し、適切な職員配置を行ってきたことを確認したので、自ら返還はしない」と報告されたが、何によって職員配置の実態を確認したのか。

A 現存する事業計画書及び医療機関経営者への聞き取りにより確認した。

Q 従業員への聞き取りもすべきではないか。

A 状況確認ができたので、行っていない。

Q 医療機関も市も国要綱に基づく事業を行いながら、補助金返還の疑義が生じたのはなぜか。

A 要綱改正の漏れが、返還対象となる可能性があると考えたことによる。

見輝 浅治

(あさみ はるき)

1990年3月生まれ31歳。愛知県大府市出身。大阪から妻と移住。その後義母も移住し現在3人暮らし。アウトドアが好きな妻と自然に囲まれた暮らしをしたいと移住を決意。



若者が楽しめる浜田にしたい

——浅見さんはブルーツーリズム(海の体験活動)を推進し、観光・地域振興を目的に着任されましたが、現在どのような活動をされていますか。

浅見 主に国府海岸での海を使った体験活動の計画・実施や、国府大敷網漁業の手伝いをしています。浜田の良いところや人に出会うために、積極的に浜田市中を動き回っています。

——浜田の海や地域についてどのように感じますか。

浅見 初めて浜田市に来たとき海の美しさに感動しました。その海を活用した計画や活動がで

きて毎日幸せです。近所の方が採れたての野菜などを持ってきてくれます。大阪では考えられないことです。日常の中での話や活動をとおして地域の方と関わるのが楽しいです。

——若者の視点で浜田市にあって良いなと思うものがありますか。

浅見 浜田の豊かな自然を生かして若者が楽しめるイベントや場所があれば良いと思います。それを私がつくってあげたら良いなと思います。

おこし協力隊の力で 浜田を元気に!

「地域おこし協力隊」とは人口減少や高齢化などの進行が著しい地方において、地域外の人材を積極的に受け入れ、地域協力活動を行ってもらい、定住・定着を図ることで、地域力の維持・強化を目的とした国(総務省)の制度です。

浜田の可能性を深掘りしたい

——現在、浜田市では、後継者不在の事業を存続させるために、地域おこし協力隊制度が活用され、そのマッチングに取組んでいます。齋藤さんはその第1号として着任されましたが、現在どのような活動をしておられますか。

齋藤 まずは市内の事業所さんを訪ねて事業内容や状況を伺っています。また、起業準備の勉強もしています。

——どんなことに関わってきたいとお考えですか。

齋藤 都会から地方に移住したいと思っている人は多く、その入り口は観光という視点から

多いと思います。今までの自分の経験を生かし、特に観光やサービス業の分野で浜田の魅力を深掘りして、楽しい話題をつくり、そして発信していけるようなことができたらと思っています。

——ご家族で東京から移住されました。浜田での生活はいかがですか。

齋藤 生活は予想以上に快適です。子どもたちは東京にいるときは、「何をして遊ばない」といつも言っていました。浜田に来てから言わなくなりましたね。楽しい毎日が送れています。

藤介 齋慎

(さいとう しんすけ)
1981年8月生まれ39歳。神奈川県鎌倉市出身。東京から妻と子どもと移住。祖父母がいる三隅が懐かしく、我が子たちに探究心や好奇心が育つ自然豊かな環境で大きくなってほしいと願い浜田へ。





木村 亨 木 宜

(きむらのぶゆき)
1979年5月生まれ41歳。山口県宇部市出身。広島から妻・子どもと移住。料理の仕事をしたかったところ、妻の出身の江津市と近かったのが応募のきっかけ。

浜田の豊かな魚を生かしたい

—— 木村さんは旅館や飲食店で不足している料理人の育成事業で着任されました。現在のどのような活動をされていますか。

木村 着任してから幾つかの宿泊施設や飲食店で体験後、現在は下府町の千畳苑で料理の腕を磨いています。

—— 浜田の「食」についてどう思われますか。

木村 種類の豊富な魚を料理したり、おいしく食べたり、幸せな環境です。海の景観も素晴らしいです。

—— ご家族と一緒に浜田へ移住されて感じていることがあれば教えてください。

ば教えてください。

木村 自然が多くて素敵な場所や物がたくさんあるのに、HPなどで浜田の良さが伝えきれていないのが残念だと感じています。情報発信が魅力的な近隣の市町が多い中、浜田市ももっと広報に力を入れたら移住者や観光客誘致につながると思います。また、現在未就学児があり、出産も控えています。私たちは頼る人が少ない中、またコロナ禍でも安心して子どもを育てる環境が欲しいです。

地域

第2回の市民対談は、市内で活動される4人の地域おこし協力隊の方々にお話を伺いました。活動内容はさまざまです。皆さまお忙しい中ありがとうございました。パワーをいただきました。(インタビュアー：村武 まゆみ)

地域を点ではなく線・面で考える

—— 松田さんも齋藤さんと同じ目的で着任されました。現在のどのような活動をされていますか。

松田 現在はさまざまな企業の方々と会って話をしています。まず浜田を知るために日々動き回っています。

—— 浜田についてどのように感じますか。

松田 浜田市の規模で考えると、一企業や事業所が点ではなく、線・面をつくり、ネットワークとして地域活性を考えることが必要です。また、高齢化を踏まえ、市民の方の交通手段はもち

ろんですが、よそから来る方の視点で、市内を観光する交通手段が充実すると観光客が増える要因になるのではないかと感じています。

—— 浜田暮らしはいかがですか。

松田 子育てをする上で、同じ境遇の人との出会いの場が少ないですね。また、良い子育て支援策はあっても知らないことが多々あります。欲しい情報へたどり着く難しさを感じています。

第2回 市民対談



松田 英貴

(まつだ ひでき)
北海道旭川市出身。スポーツ選手コンディショニング、特殊危機管理などに従事。令和2年9月に東京から移住。子どもを育てる上で、思いっきり遊べて、自由に生きていく環境で新たなライフスタイルを築きたいと思い浜田へ。

「(仮称)はまだ市民一日議会」の実施を検討中

議会広報広聴委員会では、新型コロナウイルスの収束が見えない中ではありますが、市民の皆さまからの浜田市を良くする意見をお聞きする機会として新しい試みを検討しています。

これまで年2回行ってきました議会報告会のうち1回を議場に移し、浜田市に関するご意見などをお持ちの方に登壇していただき、その発言を市議会議員が自席にてお聞きするとともに、若干の質疑を行うことにより発言者の思いを議員が受け止め、今後の議員活動の充実へ、また、全員協議会での取り扱い協議を経て政策提言などへつなげることを目的としています。概要は以下のとおりです。



参考にした愛知県犬山市議会の
フリースピーチの様子

実施予定日時：令和3年7月11日（日）午後1時から午後3時まで

応募できる人：浜田市内に在住・在学・在勤のいずれかに該当する方

発言者数：10名程度（年齢制限なし、多数の場合は抽選により決定します）

発言内容：浜田市政や浜田市議会に関すること（国、県、他市町村に関することはご遠慮ください）

発言時間：1人5分以内

発言の取扱い：当日は発言内容を確認するために、議員が発言者に質問することがあります
後日、いただいたご意見を議会として
どう取扱うか全員協議会で協議します

正式決定しましたら市民の皆さまへご報告するとともに、広く周知を行い、より良い「(仮称)はまだ市民一日議会」の実施ができるように取組みます。また、今後も、多くの市民の方々のご意見をいただけるよう工夫してまいります。



島根県市議会議長会主催の議員研修会に参加

10月22日に「今の時代における地方議会・議員の役割」と題し、大山礼子駒澤大学教授からオンラインで講義を受けました。

【要旨】

議会は信頼されていないはずだが定数が減り、市民から遠くなる悪循環になっている。少子化など国レベルの問題や社会の分断も深刻化しているが議会には分断を回避する装置の役割がある。選挙制度の見直しも含め多様性の確保が生命線。提案の精査、問題の発掘など、議会と住民との協議が重要。社会教育の場としても地方議会は最適で新しい意見や人材を迎え入れる度量も問われている。

【議員の感想】

- ・議員のなり手不足、議会不信が言われる中、議会の見える化などの全国の取組を聞き、参考になった。
- ・広聴機能の強化と、そこで得た住民の声を政策立案に生かすことが重要だと感じた。



はまだ議会だより 読者アンケート

前号のリニューアルした紙面へのご意見・ご感想、ありがとうございます。集計結果や寄せられたご意見は以下のとおりです。今号のアンケートにもぜひご協力をお願いします。

【総数】15件（アンケート回答：9件、ご意見・ご要望：6件）

【年代別数】40代1件、50代2件、60代2件、70代4件、80代3件、未回答3件

【性別数】女性6件、男性9件

リニューアルした前号（Vol.59）で気になった記事について

『市政を問う』の記事をあげる方が多かったです。理由は、「議員の活動状況や個々の議員の問題意識が分かった」、「議員全員の顔と名前が分かってよかった」などで、議員を身近に感じていただけているようでした。新企画の『市民対談』についても、「素晴らしい活動をしておられる方を知ることができて、大変興味深かった」、「これからも楽しみにしています」など、うれしいお声も届いています。

議会や市政へのご意見・ご要望

皆さまからいただいたご意見・ご要望は議員間で共有させていただきます。今後の議員活動、議会活動に生かしていきます。

- ・議会だより横文字が多く理解しにくいので、なるべく使わないか和訳を併記してほしい。
- ・運転免許証を返納しようと考えているが、バスの運行時間の使い勝手が悪く利用しづらい。
- ・空き家や誰も住んでいないアパートがあり、防犯上心配なので解体して更地にしてほしい。
- ・家庭からの汚水が浜田川に垂れ流しになっている。汚染を食い止めるため早急に下水道整備を。
- ・公民館がコミュニティセンターになっても、今までのように地域の集える場であってほしい。
- ・浜田を子どもたちに孫たちに継承できる町にできるのか？不安だらけでどうしようもない。



キトリ



はまだ議会だより Vol.60 読者アンケート

	お住まい	年 代	性 別
Q1 あなたの	町	歳代	
Q2 「(仮称)はまだ市民一日議会」についてどう思いますか？その理由は？（14ページ参照）	①参加してみたい ②聴いてみたい ③興味がない ④分からない ⑤その他（ ）		
	理由（ ）		
Q3 自由意見（浜田市議会へのご意見やご要望などをお聞かせください）			

最寄りの公民館の回収箱へご投函ください。ウェブでの回答はこちらから。⇒
集計の都合がありますので、2月末日までにご回答をお願いします。



3月定例会議開催スケジュール

日	月	火	水	木	金	土
2/21	22	23 天皇誕生日	開会 議案の提案説明 24	会派代表質問 25	個人一般質問 26	27
28	3/1 個人一般質問	2 個人一般質問	3 議案質疑	4 総務文教委員会	5 福祉環境委員会	6
7	8 産業建設委員会	9 休会	10 予算決算委員会 (総務文教関係)	11 予算決算委員会 (福祉環境関係)	12 予算決算委員会 (産業建設関係)	13
14	15 予算決算委員会 (予備日)	16 休会	17 採決 散会	18	19	20 春分の日



議会を傍聴してみませんか!

定例会議（委員会）では、市民のみさんの暮らしにかかわることを審議（審査）しています。
傍聴を希望される方は、本庁舎5階議会事務局までお越しください。

…………… 表紙について ……………

ダウン症の方が描かれた作品です。市内のアトリエ・スノイロに作品提供のご協力をいただきました。

はまだ議会だよりはminiもあります!!



令和3年1月1日のお正月号はご覧いただけましたでしょうか。浜田市議会HPにウェブ版として掲載しています。上記QRコードからぜひご覧ください。

次号は令和3年3月1日に発行予定です。当初は3か月に1回ペースの予定でしたが、タイムリーな情報をどんどんお届けするため、年4回のはまだ議会だより本紙が発行される月以外にminiを発行します！毎月1日に議会だよりが発行されますので、ぜひご覧ください。

議長なんでもメール 議長や市議会に関するご意見・ご要望・ご提言などお気軽にお寄せください。浜田市議会ホームページ→議長なんでもメール



★この議会だよりは一部あたり46・46円(税込)です。

編集委員		
委員 長	副委員 長	委 員
三浦 大紀	西川 真午	川上 幾雄
小川 稔宏	野藤 卓	菅田 英夫
佐々木 幹雄	芦谷 治	佐々木 幹雄

12月定例会議も議長を除く23人全員が個人一般質問を行いました。市議会の意気込みの表れともいえますが全国的にはまれなことです。議員定数の議論では市民と議員との認識の隔たりなど距離感も指摘されました。

「前例より前進」の言葉もありますが、公共の福祉や民主主義の発展など「市民の利益になることはやってみる」というのが私たちの姿勢です。議場を活用し、フリースピーチ形式で市民の意見を聞く「(仮称)はまだ市民一日議会」の開催に向け、準備を進めています。動く浜田市議会を見守っていただき、ご意見もどしどしお寄せください。

(記 小川 稔宏)

あとがき